

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[1] 健康教育・健康相談

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
健康相談事業	保険健康課	231回		充実	●	継続		新規	
事業の概要									
心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、ひいては個々の健康管理に資する。									
平成24年度実績									
1)まちの健康相談室 実施内容:健康に関する相談、健診結果の説明、血圧・体重測定・体脂肪測定(偶数月のみ)・尿検査(必要時) 実施回数:年間 48回 (市役所、三間保健福祉センター、津島保健センター、吉田公民館において毎月実施) 参加者数:年間延べ 366人 2)その他の健康相談 実施内容:歯周疾患健康相談、病態別健康相談、市民健康相談等 実施回数:年間延べ 190回 参加者数:延べ 2,496人								決算額	
								245千円	
								実績値	
								238回	
総計:238回 延べ2,864人								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
まちの健康相談室は、市内4地区において毎月定例日を設定し継続実施しており、市民への定着化を図っている。 健診結果の説明では、今年度から健診内容の中でも腎機能検査が充実したことにより、自分自身の結果について関心を持つ参加者が増加した。しかしながら、来所者は高齢化、固定化の傾向があり、次年度はより若い世代への周知を図っていくことが必要である。 市民のニーズに即した出前講座や相談は増加傾向にあり、今後は、定例日以外にも、随時相談対応が可能であることを周知し、市民に身近な相談窓口として活用を推進していく予定である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
1)効果的な事業の周知 まちの健康相談室の日程を、特定健診受診者へ配布する冊子に盛り込み周知する。 様々な保健事業を通じて広く周知し、活用を促進していく。 保健指導が必要な人が市の保健サービスを活用できるよう、医療機関(かかりつけ医)に利用勧奨を依頼する。								予算額	
								256千円	
								目標値	
2)利用しやすい健康相談の設定 休日や夜間実施など、対象者が利用しやすい時間帯に設定し、引き続き実施する。 がん健診時や人が多く集まる機会を利用した健康相談を設定する。 定例日以外にも、随時、来庁・電話相談等による相談が可能であることを周知していく。								250回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[1] 健康教育・健康相談

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調書は重複するため省略) 別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
健康教育事業	保険健康課	245回		充実	●	継続		新規
事業の概要								
生活習慣病の予防等健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資する。								
平成24年度実績								
1) 教育内容 ・メタボリックシンドロームなどの生活習慣病予防、がん予防、歯周疾患予防、骨粗鬆症予防等								決算額
								734千円
2) 地域における啓発活動 「健康づくり出前講座」の実施・・・公民館、保育園・幼稚園、学校等との連携による健康教育の実施 広報うわじま「健康づくり通信」掲載・・・毎月 「健康づくりパネル展」の実施 公民館館報掲載								実績値
								300回
健康教育 総計:267回 延べ11,861人 健康づくりパネル展 33回								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
・従来、健康教育の参加者は女性が多い状況だったが、夫婦や男性の参加勧奨を強めたことにより、男性の参加者も増加傾向となった。 ・各種団体や地区組織からの依頼による健康教育は、依頼元のニーズと市の健康課題を組み合わせ、プログラムや内容を検討し実施した。 ・公民館の活動計画に「健康づくり出前講座」を組み込みでもらい、地域での健康教育の機会が増加している。 ・今年度、パネルを改訂し、市民に見やすくわかりやすい媒体作りに努めた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
1) 効果的な事業の周知 様々な保健事業を通じて広く周知し、活用を促進していく。 保健指導が必要な人が市の保健サービスを活用できるよう、医療機関(かかりつけ医)に利用勧奨を依頼する。 社会資源を活用し、地域・職域等との協働も視野に入れ、健康教育を周知していく。								予算額
								757千円
2) 利用しやすい健康教育の設定 休日や夜間実施など、対象者が利用しやすい時間帯に設定し、引き続き実施する。 集団健診時や人が多く集まる機会を利用した健康教育を設定する。								目標値
								300回

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
特定保健指導の推進	保険健康課	41.0%	45%	充実		継続	●	新規	
事業の概要									
内臓脂肪型肥満に着目した特定健診の結果から、階層化を行い、生活習慣改善の必要性に応じて「情報提供」、「動機づけ支援」、「積極的支援」に分け、特定保健指導を行うものである。 特定保健指導は内臓脂肪型肥満の要因となっている生活習慣病を改善することを目的に、「動機づけ支援」、「積極的支援」の対象者と共に、自らの生活習慣を振り返り、生活改善目標を設定し、実践(行動)に取り組むことができるよう、またセルフケア(自己管理)ができるよう支援するものである。									
平成24年度実績									
特定保健指導 積極的支援 対象者 240名 初回面接実施者 69名 実施率 28.8% 動機付け支援 対象者 430名 初回面接実施者 172名 実施率 40.0% 特定保健指導受講者の改善状況 (積極的支援から動機付け支援・情報提供、動機付け支援から情報提供になったもの) 平成23年度特定保健指導受講者 積極的支援 改善率 37.1% 動機付け支援 改善率 16.9%								決算額	
								597千円	
								実績値	
								36%	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
初回面接の実施率は、36.0%と昨年度の40.8%より低下した。 事業開始のH20年度は66.0%であり、第1期となる5年間で約半数の実施率となった。。 再度の特定保健指導の受講を希望されない方が多く、理由として「自分で頑張る」という意見が多かった。再受講者への指導内容や資料の検討が必要である。 また、40～50歳代の利用率が低く受講しやすい環境づくりに努めたが、「忙しい」という理由が多く受講に結びつかなかった。 特定保健指導受講者の改善状況では、動機付け支援よりも支援回数が多い積極的支援のほうが改善率が高く、状況の悪化や進行予防への効果が見られた。評価アンケートには、特定保健指導をきっかけに「自分の健康に気をつけるようになった」「自分を見つけるいい機会を与えていただいた」という意見があり、意識改革・行動変容に結びついた方が多数おられた。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
利用勧奨の電話を継続して行う。 健診結果送付時の特定保健指導案内を工夫する。 働きざかりの年代も利用しやすいよう、休日の設定を継続する。 使用する学習教材・冊子等を見直し、使用する。 ポピュレーションアプローチとの連携により、効果的な生活改善指導を行う。								予算額	
								734千円	
								目標値	
								50.0%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
健康教育事業(ヘルスアップ実践講座)	保険健康課	24回		充実	●	継続		新規	
事業の概要									
体験型健康教育を通して、生活習慣病発症及び重症化の予防に関する正しい知識を普及するとともに、楽しみながら生活習慣行動の改善について実践し、健康づくりの意識付けと定着化を図る。									
平成24年度実績									
〔運動編〕～ヘルシーウォーキング～ 実施回数 10回 実施内容 ウォーキングの正しい知識、自宅のできる筋力トレーニング等 * 総集編では、ウォーキングコースでウォーキングを実践 参加者数 延べ 83人 〔栄養編〕～簡単野菜教室～ 実施回数 11回 実施内容 野菜の効果、必要量、摂取量アップの工夫 * 総集編では、調理実習を通じて野菜をたくさん食べる方法を実践 参加者数 110人								決算額	
								-	
								実績値	
								21回	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
〔運動編〕 参加者の多くはリピーターであり、初心者として参加した後、実践中の人が多くみられた。また、友人同士が誘い合っというケースが多く、講座の雰囲気の和やかだった。 従来、参加者は女性がほとんどだったが、夫婦や男性の参加を呼びかけた。 〔栄養編〕 市民の野菜摂取量が少ない状況から、野菜を多く摂る工夫についての内容が好評だった。 * いずれの講座も、内容が生活の中で実践しやすい内容だったことや楽しみながら学ぶ講座設定としたことから、参加者アンケートの結果も満足度が高く、今後実践したいとの感想が多かった。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
1) 効果的な事業の周知 「ヘルスアップ実践講座」の日程を、特定健診受診者へ配布する冊子に盛り込み周知する。 様々な保健事業を通じて広く周知し、活用を促進していく。 健診結果に応じた生活改善に役立てられるよう、健診結果説明会等で周知する。 保健指導が必要な人が市の保健サービスを活用できるよう、医療機関(かかりつけ医)に利用勧奨を依頼する。 2) 利用しやすい保健事業の設定 休日や夜間実施など、対象者が利用しやすい時間帯に設定し、引き続き実施する。 特定保健指導利用者(積極的支援)の中間評価と講座を一部同日開催とする。								予算額	
								-	
								目標値	
								22回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)	45回		充実		継続	●	新規	
事業の概要									
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行う。									
平成24年度実績									
実施回数 45回(夜間糖尿病教室3回、調理実習11回含む。) 延べ参加者数 910名(入院患者133名、外来患者777名)								決算額	
								-	
								実績値	
								45回	
								進捗状況	
5									
事業に対する評価・課題等									
○定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は随時院内放送も実施していることから患者・市民に広く浸透し、糖尿病予防に対する意識啓発が図れた。 ○毎回、参加者の血糖値を測定するとともに、糖尿病またはその予備群の患者を中心として病態の把握や自己管理指導を行った。 ○糖尿病または糖尿病が原因となって引き起こす疾病についての基礎知識や治療法について、内科医が講義を行うほか、食事、運動、薬物などによる療法に関して、栄養士、理学療法士、薬剤師など各専門分野から糖尿病療養指導士のスタッフが指導を行うことにより、日常的な実践につながる情報を提供した。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
今後も定期的に実施する。医師は内科のみならず皮膚科や眼科などの講義も行い、歯科衛生士、総務管理課、地域連携室職員による講話を行うことで、より多角的に糖尿病への理解を深めていく。 患者会(パール会)活動を通して、世界糖尿病デー(11/14)のイベントも実施予定。								予算額	
								-	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[2] 生活習慣病予防教室

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)	12回		充実		継続	●	新規	
事業の概要									
入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防に繋げるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行う。									
平成24年度実績									
実施回数 11回 延べ参加者数 174名(入院患者8名、外来患者166名)								決算額	
								-	
								実績値	
								11回	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
○定期的に開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は院内放送も実施していることから患者・市民に広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発が図れた。 ○重篤な心臓病を引き起こす要因となる高血圧や不整脈に関する基礎知識、心臓病を発病した場合の治療法など、毎回テーマに沿って、循環器内科医師または薬剤師による講義を実施するとともに、病態に応じた、または、予防のための食事療法について栄養士が指導を行うことで、日常的な実践に繋がる情報を提供した。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
月1回実施予定								予算額	
								-	
								目標値	
								月1回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[3] 壮年期からの健康づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
心の健康相談事業	保険健康課			充実	●	継続		新規	
事業の概要									
心の健康相談									
心の健康に関する個別の相談に対し、相談窓口の周知を行い、必要な助言及び情報提供等をを行うことにより、個々の持つ悩み等を軽減していくよう支援することを目的として実施。 相談内容には、受療に当たっての相談や社会復帰のための相談等も含まれ、個々のケースに対応している。									
平成24年度実績									
実施場所	宇和島市役所								決算額
日程	毎月第2水曜日：年12回 予約制								-
スタッフ	精神科医師相談(精神科スタッフ)：年6回 保健師相談：年12回								
利用状況	実人数 15人 延人数 16人								実績値
相談内容内訳(重複あり)	精神科疾患(疑い含む)：14人 うつ病：3人 妄想：1人 ひきこもり：4人								12回
来所者内訳	10代：0人 20代：1人 30代：4人 40代：1人 50代：4人 60代：2人 70代：3人								進捗状況
									5
事業に対する評価・課題等									
・利用状況は医師相談が11人、保健師相談は5人であった。年齢別にみると30歳代、50歳代の相談が最も多かった。 ・相談内容では、引きこもりやうつ傾向の相談が最も多く、自殺予防の観点からも、引き続き「心の健康相談」を窓口として、必要な方に専門医の受診につながるよう、支援していく必要があると考える。 ・医療機関の直接受診は抵抗があると感じる方が、心の健康相談で受診を勧められ、専門医への受診に繋がることができたケースがあり、受診への足がかりになっている。 相談内容により、後日、思春期の健康相談を受けたり、保健師の訪問を実施するなど、事後フォローを実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5
平成25年度予定									
地域自殺対策緊急強化事業の「対面型相談支援事業」として自殺予防の視点を強化し取り組む 1)対面型相談支援事業の実施・・・速やかに問題解決のための医療機関、各種窓口へ繋ぐ。 2)相談窓口の周知を強化・・・周知用パンフレットの作成・配布 ・各種相談窓口にちらし等を設置し、フォローが必要なケースに配布する。 ・相談窓口一覧を明記したパンフレットを作成し、全戸配布する。 ・各保健事業や広報、市ホームページを活用し周知強化を図る。									予算額
									-
									目標値
									-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
喫煙、飲酒の健康被害について情報を提供する。 「心身ともに健康な子」の育成。									
平成24年度実績									
校内敷地内禁煙の徹底(学校行事・PTA活動等での呼び掛け)を図った。 喫煙・飲酒・薬物乱用防止と健康について学習する機会をもった。 生活安全課の方を講師とした薬物乱用防止教室の開催と、少年法に関連した講演の開催を行った。								決算額	
								実績値	
								91%	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
未成年の喫煙・飲酒・薬物乱用の害についての理解が深まった。 公共の場でのマナーについての理解が深まった。 飲酒・喫煙・シンナーの吸引が成長を妨げる理解が深まった。 喫煙、飲酒について考えさせる良い機会となっているが、家庭の教育力が低い生徒には、課題が多く残っている。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
保護者へ受動喫煙防止について、呼びかけを行う。 喫煙、飲酒の健康被害について「保健」「特別活動」に位置づけ、授業で指導する。 公共の場でのマナーについての学習の展開。 薬物乱用防止教室を実施する。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課	30館	30館	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
不特定多数の住民が利用する公民館において受動喫煙防止策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を目指す。									
平成24年度実績									
平成24年度で全館施設内禁煙を達成する事ができた。								決算額	
								0千円	
								実績値	
								30館	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
市が管理している公民館は、市の方針として実施できるが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
市が管理している公民館は目標が達成できたが、地元管理の集会所を兼ねた公民館についても施設内禁煙を目指したい。								予算額	
								0千円	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H23)	目標値(H24)						
敷地内禁煙の実施(施設内禁煙からの充実)	病院局	3施設	2施設	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
受動喫煙の防止対策を図るため、施設内の禁煙だけでなく、敷地内における全面禁煙を目指すもの。平成23年1月より津島病院が施設内禁煙を実施し、3病院すべての敷地内禁煙を実現した。									
平成24年度実績									
全市立病院において敷地内禁煙を実施。 市立宇和島病院心臓血管外科及び津島病院内科において、禁煙外来を実施している。 宇和島病院：H24年度患者数44人、禁煙治療終了者29人、禁煙成功者数24人 津島病院：H24年度患者数4人、禁煙治療終了者4人、禁煙成功者0人								決算額	
								—	
								実績値	
								3施設	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
全病院において敷地内禁煙が達成されたため、今後は禁煙外来の推進を図り、市立宇和島病院及び市立津島病院において禁煙外来を実施している。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
敷地内禁煙の継続実施。禁煙外来の推進。								予算額	
								—	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[5] 喫煙・飲酒に対する対策

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
喫煙室(入所者向け)の設置	病院局 (介護老人 保健施設)			充実		継続	●	新規	
事業の概要									
受動喫煙防止対策を図るため、入所者用の喫煙室を設置するもの。									
平成24年度実績									
2施設とも、入所者のみを対象とした既存の喫煙室を継続利用								決算額	
								-	
								実績値	
								-	
								進捗状況	
								-	
事業に対する評価・課題等									
喫煙室を利用する際に、マナーが守られないことがある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
喫煙室における通所利用者と入所者の喫煙マナーの指導を継続して実施する。(受動喫煙防止と火災予防の観点から)								予算額	
								-	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略) 別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
母親学級・両親学級	保険健康課	5コース		充実	●	継続		新規	
事業の概要									
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。									
平成24年度実績									
【マタニティスクール、マタニティクッキング、パパママスクール】 (対象) 〔マタニティスクール〕 宇和島市に居住地を有する妊婦 〔パパママスクール・マタニティクッキング〕 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 (場所) 宇和島保健センター (回数) パパママ:年5回(日曜日3回・夜間2回) マタニティ・クッキング:年3回(クッキング日曜開催2回) (内容)								決算額	
								201千円	
								実績値	
								パパママ5回 マタニティ2回 クッキング2回	
								進捗状況	
内 容	パパママスクール	マタニティスクール	マタニティクッキング	4					
	自己紹介	自己紹介	妊娠中の栄養に						
	妊娠中と産後のからだの	妊娠中の生活	についての講義						
	変化	妊娠中の歯の手入れ	調理実習						
	お父さんの妊婦体験	出産への心がまえ	試食						
	赤ちゃんのお風呂の入	座談会							
	れ方(沐浴実習)と準備物品								
家族計画について									
従事者	保健師	保健師	栄養士・保健師						
事業に対する評価・課題等									
・パパママスクールは日曜・夜間の開催で受講者も多く参加者の満足度も高かった。 ・クッキングは日曜開催に夫同伴での参加があり、夫婦の方が参加しやすいという声があった。 ・マタニティスクール、クッキングは参加者が少ない、教室の持ち方を見直し、より多くの妊婦とその配偶者が参加しやすいプログラムを検討したい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
教室の持ち方、内容を検討し、利用しやすいプログラムとする。								予算額	
								16千円	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[6] 女性の健康管理、保持、増進のための健康教育・相談支援

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略) 別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																													
		現状値(H23)	目標値(H24)																														
妊産婦相談	保険健康課	48回		充実	●	継続		新規																									
事業の概要																																	
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。																																	
平成24年度実績																																	
(対象) 宇和島市に住民登録をしている妊産婦		定例相談		<table><tr><td>妊婦</td><td>回数</td><td>相談者数(実)</td><td>相談者数(延)</td></tr><tr><td>宇和島地区</td><td>12</td><td>5</td><td>10</td></tr><tr><td>吉田地区</td><td>12</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>三間地区</td><td>12</td><td>4</td><td>10</td></tr><tr><td>津島地区</td><td>12</td><td>2</td><td>5</td></tr><tr><td>計</td><td>48</td><td>13</td><td>28</td></tr></table>				妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	宇和島地区	12	5	10	吉田地区	12	2	3	三間地区	12	4	10	津島地区	12	2	5	計	48	13	28	決算額	
妊婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)																														
宇和島地区	12	5	10																														
吉田地区	12	2	3																														
三間地区	12	4	10																														
津島地区	12	2	5																														
計	48	13	28																														
(場所・回数)								0千円																									
〔定例妊産婦相談〕								実績値																									
宇和島保健センター、立間公民館																																	
三間保健福祉センター、津島保健センター								48回																									
各12回/年 * 育児相談と同時開催																																	
(随時妊産婦相談)				<table><tr><td>産婦</td><td>回数</td><td>相談者数(実)</td><td>相談者数(延)</td></tr><tr><td>宇和島地区</td><td>12</td><td>18</td><td>23</td></tr><tr><td>吉田地区</td><td>12</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>三間地区</td><td>12</td><td>23</td><td>57</td></tr><tr><td>津島地区</td><td>12</td><td>2</td><td>6</td></tr><tr><td>計</td><td>48</td><td>47</td><td>90</td></tr></table>				産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)	宇和島地区	12	18	23	吉田地区	12	4	4	三間地区	12	23	57	津島地区	12	2	6	計	48	47	90	進捗状況	
産婦	回数	相談者数(実)	相談者数(延)																														
宇和島地区	12	18	23																														
吉田地区	12	4	4																														
三間地区	12	23	57																														
津島地区	12	2	6																														
計	48	47	90																														
集会所や公民館、電話等において随時実施。																																	
(内容) 個々の妊産婦に応じた相談		随時相談						5																									
(従事者) 保健師・栄養士																																	
		<table><tr><td>妊婦</td><td colspan="2">人数</td></tr><tr><td></td><td>来所等</td><td>電話相談</td></tr><tr><td>全地区</td><td>18</td><td>28</td></tr></table>		妊婦	人数			来所等	電話相談	全地区	18	28	<table><tr><td>産婦</td><td colspan="2">人数</td></tr><tr><td></td><td>来所等</td><td>電話相談</td></tr><tr><td>全地区</td><td>15</td><td>20</td></tr></table>		産婦	人数			来所等	電話相談	全地区	15	20										
妊婦	人数																																
	来所等	電話相談																															
全地区	18	28																															
産婦	人数																																
	来所等	電話相談																															
全地区	15	20																															
事業に対する評価・課題等																																	
・定例日の産婦相談は、乳幼児の育児相談を兼ねて来所する人が多い。																																	
・定例日の妊婦相談は昨年に比べ、減少傾向である。月に1回、各保健センターのみでの実施であるため、妊婦さんにとってなかなか足を運びにくい状況であると考えられる。																																	
・来年度からは電話相談も利用しやすいよう、母子健康手帳交付時に電話相談についての情報を伝えるようにする。																																	
・赤ちゃん訪問時のアンケートによると、産後うつのリスクが高い人は25.2%と昨年度とあまり変化はない。今後も母親のメンタル面に対して、訪問や相談などで随時フォローをしていくことが必要である。																																	
男女共同参画の視点での評価																																	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—																									
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—																									
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—																									
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—																									
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—																									
平成25年度予定																																	
母子健康手帳交付時に、定例日の妊婦相談だけではなく、電話相談も行っていることを伝え(電話番号、対応時間等)利用をすすめる。								予算額																									
マタニティスクール等でも引き続き妊婦相談の場の利用をすすめる。								0千円																									
								目標値																									
								48回																									

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																	
		現状値 (H23)	目標値 (H24)																																		
妊婦健康診査 (公費負担)	保険健康課	98.0%	14回 / 人 (100%)	充実	●	継続		新規																													
事業の概要																																					
母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または、一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。																																					
平成24年度実績																																					
・昨年度と同様に妊娠期を通して公費負担回数を14回として実施。 ・健診内容が県下で見直し、5項目が追加となった。(HIV- 抗体検査 風疹ウイルス抗体検査 性器クラミジア検査 GBS膣分泌検査 超音波検査) ・追加検査は平成24年4月1日以降の健診受診者が対象となるため、 新しい受診票の差しかえを円滑に実施した。				9枚綴り分				決算額																													
					交付数	受診数	受診率(%)	36,157千円																													
				1回目	555	504	90.8%																														
				2回目	563	455	80.8%																														
				3回目	572	456	79.7%																														
				4回目	575	454	79.0%																														
				5枚綴り分 <table><tr><th></th><th>交付数</th><th>受診数</th><th>受診率(%)</th></tr><tr><td>1回目</td><td>551</td><td>518</td><td>94.0%</td></tr><tr><td>2回目</td><td>560</td><td>548</td><td>97.9%</td></tr><tr><td>3回目</td><td>565</td><td>491</td><td>86.9%</td></tr><tr><td>4回目</td><td>573</td><td>469</td><td>81.8%</td></tr><tr><td>5回目</td><td>580</td><td>355</td><td>61.2%</td></tr></table>					交付数	受診数	受診率(%)	1回目	551	518	94.0%	2回目	560	548	97.9%	3回目	565	491	86.9%	4回目	573	469	81.8%	5回目	580	355	61.2%	5回目	579	449	77.5%	98.1%	
									交付数	受診数	受診率(%)																										
								1回目	551	518	94.0%																										
								2回目	560	548	97.9%																										
3回目	565	491	86.9%																																		
4回目	573	469	81.8%																																		
5回目	580	355	61.2%																																		
6回目	581	418	71.9%																																		
7回目	582	354	60.8%	進捗状況																																	
8回目	582	264	45.4%																																		
9回目	582	168	28.9%			5																															
事業に対する評価・課題等																																					
・妊婦健診の内容は平成24年度より県下統一となり、新たに5項目の検査が追加され、健診内容は充実してきた。定期的に健診を受診している妊婦の割合もここ数年、98%以上である。 ・血糖値の高い妊婦が増加しているため(H23度は3.5%)、平成25年度からは高血糖妊婦の経過観察を確実に行っていきたい。 ・今後も、母子健康手帳交付時に利用方法を説明し、妊娠期の健康管理を適切に支援していきたい。																																					
男女共同参画の視点での評価																																					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—																													
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—																													
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—																													
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—																													
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—																													
平成25年度予定																																					
・平成24年度と同様に14回分の受診票を交付し、適切な時期に健診を受けるよう勧奨し、妊娠期の健康管理に役立てる。								予算額																													
・近年割合が高くなっている高血糖妊婦のフォローを実施し、妊娠期に高血糖であった方に40歳以降特定健診受診を勧奨するため、健診結果より高血糖妊婦を抽出し、経過観察を確実に行う。								42,320千円																													
								目標値																													
								100%																													

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
母子健康手帳の交付事業	保険健康課	522人		充実		継続	●	新規	
事業の概要									
妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。									
平成24年度実績									
(対象) 宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦 (場所) 本庁及び支所窓口にて交付 (内容) 母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票交付、保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明 (従事者) 保健師								決算額	
								91千円	
								実績値	
								544人	
								進捗状況	
4									
事業に対する評価・課題等									
・母子健康手帳交付時、夫婦での来庁も増えており、母子健康手帳及び妊婦一般健診についての説明や出産についての相談を夫婦で聞くことができる。 ・平成24年度は、出産後に母子健康手帳を交付した方はおらず、8割以上が満11週以内に交付している。 ・妊婦アンケートにから、妊娠中の喫煙率は前年度より増加しており同居家族の喫煙率も高値のため、今後も母子健康手帳交付時に喫煙による胎児や母体への影響を説明し禁煙を勧めていく。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—	
平成25年度予定									
・喫煙習慣のある妊婦及び同居家族に対しては、母子健康手帳交付時に喫煙(受動喫煙も含む)による胎児や母体への影響についての情報提供・パンフレットの配布を行い禁煙を勧める。 ・平成25年度からの妊婦歯科健康診査の実施に伴い、妊娠中の歯科健診の重要性について情報提供し受診を勧奨していく。								予算額	
								87千円	
								目標値	
								—	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
安産教室	病院局 (宇和島病院)	34回		充実		継続	●	新規	
事業の概要									
妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。									
平成24年度実績									
毎月第1、第3、第4水曜日に実施。(第1水曜日は栄養指導も実施) 【栄養指導分】・・・医師、助産師による指導、相談等に加え、栄養指導を実施 実施回数 10回 延べ参加者数 64名(外来患者) 【一般分】・・・医師、助産師による指導、相談等 実施回数 25回 延べ参加者数 261名								決算額	
								-	
								実績値	
								35回	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
○定期的に開催しており、また該当者には検診時に案内していることから、初産の方でも気軽に参加することができる。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									
平成25年度予定									
引き続き月3回程度実施予定。								予算額	
								—	
								目標値	
								月3回	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[7] 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
育児学級	病院局 (宇和島病院)	12回		充実		継続	●	新規	
事業の概要									
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来に来られた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。									
平成24年度実績									
毎月第2水曜日に実施。 計画回数 12回 延べ参加者数 0名								決算額	
								-	
								実績値	
								0回	
								進捗状況	
								2	
事業に対する評価・課題等									
定期的に開催を予定しており、また該当者には、検診時に案内しているが、参加者がいない。今後も継続し参加を呼びかけていく。									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									
平成25年度予定									
引き続き月1回程度実施予定。								予算額	
								-	
								目標値	
								月1回	

平成24年度実績の進捗状況		
かなり進んでいる		5
ある程度進んでいる		4
若干進んだと思う		3
あまり進んでいない		2
全く進んでいない		1

男女共同参画の視点での評価		
十分に考慮されている		5
ある程度、考慮されている		4
若干、考慮されている		3
ほとんど考慮されていない		2
全く考慮されていない		1
該当しない		-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	1. 市民の健康づくり支援
具体的施策	[8] 生涯スポーツの推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)			継続	廃止	新規
総合型スポーツクラブの組織充実への支援	生涯学習課 [スポ振興]			充実				
事業の概要								
年齢や耐力に応じた様々な運動やスポーツに、「いつでも、どこでも、だれもが」親しむことのできる環境を整備し、市民の健康維持・増進を目指す総合型スポーツクラブを助長しようとするものである。								
平成24年度実績								
平成21年度より、環太平洋大学が主導するクラブとなり、行政組織並びに市体育協会は組織から離れる。(平成21年度 廃止)								決算額
								-
								実績値
								-
								進捗状況
								-
事業に対する評価・課題等								
なし								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成25年度予定								
平成21年度 廃止								予算額
								-
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[1] HIV / エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)					
HIV / エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課			充実		継続	●	新規
事業の概要								
全国における平成23年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数* (確定値)は1,529件であり、平成19年以降患者数の多い状態のまま推移している。平成23年の新規HIV感染者は1,056件で過去4位の報告数となり、また新規エイズ患者報告数は473件で過去最多の報告数となっている。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要があり、愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めている。市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するほか、健康教育において感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。								
平成24年度実績								
愛媛県内の保健所が実施する定期相談に加え、「愛媛HIV検査普及週間(6月1日～7日)」に実施される定期外(休日・夜間等)の相談・検査について、ポスターの貼付等により、広く市民に周知した。また、世界エイズデーに呼応して定められた「愛媛エイズ予防週間(12月1日～7日)」に実施される相談・検査についても、ポスターの掲示や市広報誌への掲載等により、広く市民に周知した。 また、ひとり暮らしサポート講座【体験学習型】(希望する高校と連携して公民館で実施)及び【出前講座】(希望する高校に出向いて実施)において、ひとり立ち前の高校3年生に対し、HIV/エイズ、性感染症に対する情報提供を行った。								決算額
								0千円
								実績値
								-
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
県内の患者・感染者の発生は、平成12年以降年間7件程度で推移し、平成23年は11件、平成24年は10件と2年続けて報告数が多い状態が続いている。平成25年は、5月22日現在で既に1件の報告があるという状況から、正しい知識の普及等、啓発活動を推進するとともに、感染への不安がある場合の早期受診に加え、エイズへの誤解・偏見のない環境を作る必要がある。 市においては、愛媛県内の保健所が実施する相談・検査事業の周知及び、正しい知識の啓発活動について引き続いて協力体制を継続するとともに、高校生の若い世代を対象に積極的な普及・啓発活動を推進していく。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
・保健所実施の相談事業などの周知に対する協力。 ・ひとり暮らしサポート講座における高校3年生に対する健康教育、及び他の学年の高校生、中学生など各校の依頼により学校に出向いて健康教育を実施。								予算額
								0千円
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[1] HIV / エイズや性感染症に関する知識の普及

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識を普及する。 性に関する指導の充実。 「心身ともに健康な子」の育成。 学校での児童が、発達段階に応じた知識を身につけ、適切な行動が取れるようにするための教育の推進。									
平成24年度実績									
保健領域において、発達段階に応じた指導を行った。 年間指導計画に従って、発達段階に応じた性教育を実施した。(集中学習) 人権教育の視点では、「一人一人を尊重し、あらゆる偏見や差別は許されない」児童生徒の育成に努めた。 性教育講演会を開催し、知識や理解を深めた。								決算額	
								実績値	
								87%	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
正しい知識を学ぶことで、HIV/エイズや性感染症に対する認識が深まった。 保護者への啓発や、連携を強めていく必要がある。 同学年の児童生徒でも知識量に差があり、個に応じた指導が難しい。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
HIV/エイズや、性感染症に関する正しい知識の普及を継続する。 保健便り、学級通信等を通じて、保護者に啓発してゆく。 性に対する正しい知識や認識を持ち、自他の性や命を大切にすることを性教育を通して養う。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	2. 教育・相談の充実
具体的施策	[2] 発達段階に応じた生命と人権を大切にする性教育の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	86%	100%	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
生命尊重・人格尊重・男女平等の精神に基づき自分自身を大切に、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるよう、指導を推進する。 心身ともに健康な子の育成。									
平成24年度実績									
児童生徒の実態に応じた基本的な生活習慣の定着を図った。 生命誕生のしくみを知り、一人一人かけがえのない存在であることを理解させるよう努めた。 理科、保健体育科及び学級活動の学習内容として、年間指導計画に示し、計画的に実践している。								決算額	
								実績値	
								87%	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
学習したことが、普段の生活の中で実践できるようにしていくことを心掛けて指導に当たった。 家庭と連携した性に関する指導の必要性を感じた。 発達段階に応じた指導を実施しているが、家庭環境や個人差もあり一律の指導は難しい。 過度な情報の中から、正しいものを判断する力を身に付けさせる必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
学年集会・全校集会を活用した、生命と人権を大切にした講話や指導。 行事(人権集会や文化祭など)を活用した指導の充実と工夫。 各学年、各教科で、それぞれの学年に合わせた目標を設定する。 性に関する指導を年間指導計画の中に位置付け、各学年の発達段階に応じた指導を実施する。 養護教諭と担任による授業や、保健集会を計画的に実施する。								予算額	
								目標値	
								100%	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)																																					
基本健康診査の推進 (H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	16.8%	65%	充実		継続	●	新規																																
事業の概要																																								
糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とし、内臓脂肪症候群の該当者及び予備群を減少させるために行う特定保健指導を要する者を、的確に抽出するため健診を実施する。																																								
平成24年度実績																																								
<table><tr><td></td><td>健診区分</td><td>回数</td><td>対象者</td><td>受診数(人)</td><td>受診率</td></tr><tr><td rowspan="2">特定健診</td><td>集団</td><td>59</td><td rowspan="2">20973</td><td rowspan="2">4251</td><td rowspan="2">20.30%</td></tr><tr><td>個別</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">後期高齢者健診</td><td>集団</td><td>59</td><td rowspan="2">15030</td><td rowspan="2">514</td><td rowspan="2">3.40%</td></tr><tr><td>個別</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">その他の健診</td><td>集団</td><td>59</td><td rowspan="2"></td><td>9</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>個別</td><td></td><td>0</td></tr></table>										健診区分	回数	対象者	受診数(人)	受診率	特定健診	集団	59	20973	4251	20.30%	個別		後期高齢者健診	集団	59	15030	514	3.40%	個別		その他の健診	集団	59		9		個別		0	決算額
										健診区分	回数	対象者	受診数(人)	受診率																										
									特定健診	集団	59	20973	4251	20.30%																										
										個別																														
									後期高齢者健診	集団	59	15030	514	3.40%																										
										個別																														
その他の健診	集団	59		9																																				
	個別			0																																				
	31651千円																																							
	実績値																																							
	20.3%																																							
	進捗状況																																							
	3																																							
事業に対する評価・課題等																																								
昨年に比べ、受診率が20.3%に上昇。色々な方法で受診勧奨に努めており、やっと20%に達することができた。健診対象者の中には既に治療・経過観察中の人も多く、個別医療機関の協力のもと、治療中の人への受診にも力を入れている。次年度は新規受診者や経年の未受診者等、対象者に応じた受診勧奨で未受診者対策に取り組み、受診者増を図りたい。また、受診者に対しては、要医療者が医療につながり、治療中でもコントロールできていない人に対しての保健指導等を行う等、重症化予防に取り組んでいく必要がある。																																								
男女共同参画の視点での評価																																								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか									4																															
性別による固定的な役割分担等が行われていないか									4																															
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか									5																															
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか									5																															
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか									5																															
平成25年度予定																																								
特定健診についての周知徹底 ・健診対象初年度となる40歳の自己負担を無料とし、個別通知する。 ・事業主健診等受診者へもアプローチし、市の保健事業を広報する。 魅力ある特定健診の実施 ・がん検診とのセット健診や休日健診を設け、受診機会を広げる。									予算額																															
									35093千円																															
									目標値																															
									65.0%																															

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略) 別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向																																												
		現状値(H23)	目標値(H24)																																													
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	12.0%		充実		継続	●	新規																																								
事業の概要																																																
がんが市民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状にかんがみ、がん予防重点健康教育及びがん検診の充実を図る。このために必要な事項を定め、がんの予防及び早期発見に努めることにより、がん死亡率を減少させる。 <対象> 胃がん・肺がん・大腸がん検診:40歳以上の者 子宮がん検診:20歳以上の女性 乳がん検診:40歳以上の女性 (乳房超音波検診:30歳代の女性) 前立腺がん検診:40歳以上の男性																																																
平成24年度実績																																																
<table><tr><th></th><th>受診者</th><th>受診率</th><th></th><th>回数</th></tr><tr><td>胃がん</td><td>2762</td><td>8.6</td><td>胃がん</td><td>57</td></tr><tr><td>肺がんCT</td><td>915</td><td>2.9</td><td>肺がんCT</td><td>12</td></tr><tr><td>肺がんCR</td><td>2263</td><td>7</td><td>肺がんCR</td><td>60</td></tr><tr><td>大腸がん</td><td>4395</td><td>13.7</td><td>大腸がん</td><td>78</td></tr><tr><td>前立腺がん</td><td>1666</td><td>13.6</td><td>前立腺がん</td><td>60</td></tr><tr><td>子宮頸がん</td><td>3042</td><td>13.7</td><td>子宮頸がん</td><td>45</td></tr><tr><td>乳がん</td><td>3224</td><td>16.2</td><td>乳がん</td><td>49</td></tr></table> 乳がんエコー検診2回 97人									受診者	受診率		回数	胃がん	2762	8.6	胃がん	57	肺がんCT	915	2.9	肺がんCT	12	肺がんCR	2263	7	肺がんCR	60	大腸がん	4395	13.7	大腸がん	78	前立腺がん	1666	13.6	前立腺がん	60	子宮頸がん	3042	13.7	子宮頸がん	45	乳がん	3224	16.2	乳がん	49	決算額
									受診者	受診率		回数																																				
								胃がん	2762	8.6	胃がん	57																																				
								肺がんCT	915	2.9	肺がんCT	12																																				
								肺がんCR	2263	7	肺がんCR	60																																				
大腸がん	4395	13.7	大腸がん	78																																												
前立腺がん	1666	13.6	前立腺がん	60																																												
子宮頸がん	3042	13.7	子宮頸がん	45																																												
乳がん	3224	16.2	乳がん	49																																												
55,366千円																																																
実績値																																																
12%																																																
進捗状況																																																
5																																																
事業に対する評価・課題等																																																
・乳がん検診については受診者が増加した。 ・子宮頸がん・乳がんの無料クーポン券やピンクリボンの普及活動により、検診が身近になったと考える。 ・平成23年度は、試行的に乳房超音波検診を実施した。対象者は30歳代の女性とし、若年層の乳がん早期発見の機会とした。 ・その他の検診の受診数は、横ばいか若干の減数となった。特定健診等も同様であり、今後も積極的な勧奨が必要である。																																																
男女共同参画の視点での評価																																																
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5																																								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5																																								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5																																								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5																																								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5																																								
平成25年度予定																																																
年度末年齢40歳の方の胃・肺CR・大腸がん検診の自己負担無料を継続する。 受診しやすい検診体制の確保 ・1日で全てのがん検診を受けられる日の設定。 ・地区の事情に応じた日程の設定。休日を含む全曜日の設定。 がん対策推進員(愛媛県が育成)・自治会へ勧奨協力を依頼する。 30歳代を対象とした乳房超音波検診の定例実施の継続。 託児付き子宮頸がん検診の継続。								予算額																																								
								59,120千円																																								
								目標値																																								
								13%																																								

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	73自治会	50自治会	充実	●	継続		新規	
事業の概要									
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。									
平成24年度実績									
各自治会等の集会所等において、病院長及びスタッフが住民と医療について懇談を行った。 実施回数49回、出席者数807名。								決算額	
								-	
								実績値	
								49自治会	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
地域住民にたいへん好評で、これからの地域医療及び僻地の自治体病院経営を考える上で重要である。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成25年度予定									
各自治会で継続して開催していく。								予算額	
								-	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(調査は重複するため省略) 別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H23)	目標値(H24)					
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)			充実	●	継続		新規
事業の概要								
全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指す。 ○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。								
平成24年度実績								
○がん患者とその家族を対象に「がんサロン」(通称「さくらサロン」)を開設し、療養上の悩みや不安、気持ちを分かち合うことで、大きな心の支えの場を設けた。 ○医療福祉相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がんの治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 面接相談(訪問等を含む) 626件 電話相談 1,069件 ○年4回の市民公開講座、院外の医師を招いての治療セミナー、医療スタッフの研修会を行った。 ○拠点病院として「緩和ケア研修会」を実施し、関係医療機関相互の均てん化を図った。								決算額
								18,665千円
								実績値
								左記のとおり
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○「さくらサロン」の開設によって、体験された方にしか分からない胸の内が話せたり、体験された方同士、ご家族同士で話す中で、「辛いのは自分一人ではない」と思っていただけの輪が広がっている。 ○連携の標準化と質の評価方法の確立として、連携を担う人材の育成と職能の確立及び治療成績と療養の質の評価尺度が必要である。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成25年度予定								
○在宅がん医療を進めるためにも、がん医療の標準化・均てん化に力を入れる。 ○がん地域連携クリティカルパスのアウトカムを精査し、地域完結型医療の体制を整える。 ○ドナベディアンモデルの考え方を導入し、指標や目的仮説の妥当性を検討し、系統的な評価指標を作る。								予算額
								—
								目標値
								—

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[1] 健康診査

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)	充実	●	継続		新規
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)			充実	●	継続		新規
事業の概要								
1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日、金曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。								
平成24年度実績								
新病院の開院に伴って施設面でも改善され、ドックエリアには、2日ドック用にバス・トイレ付きの個室8室を完備するとともに、専用の内科診察室、検査の合間や食事の際に利用可能なラウンジを設け、23年度からは2日ドックの利用者は院内レストランで食事を取ることができるなど、受診者の利便性・快適性も向上している。また、2日ドック対象者については、個別に健康管理指導を行っている。 【ドック受診者】 1日ドック：1,051名 2日ドック：562名 脳ドック内数：143名 受診者数計：1,756名(男性 883名、女性 873名)								決算額
								-
								実績値
								左記のとおり
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
○ドック最終日に集団指導を実施し、個人個人にあった健康管理に役立っている。 ○各種検査や診察を通常の外来診療に組み込んで実施しているため、人員体制、設備的な側面から1日あたりの受け入れ人数を増員できない現状がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成25年度予定								
継続実施								予算額
								-
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	充実		継続	●	新規	
事業の概要									
宇和島市国民健康保険直営診療所(9診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりに寄与する。 平成23年度は医師(所長)5名体制であるが、平成24年3月末の遊子診療所長退任に伴い、以後は当面4名体制となる。引き続き各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させる。									
平成24年度実績									
平成24年3月末に医師が1名退職し、24年4月から、9施設4医師での診療体制となっている。 平成24年度は、蔣淵診療所長が遊子・下波・蔣淵診療所を、戸島診療所長が嘉島診療所を、日振島診療所長が喜路・能登出張所を兼任管理している。 遊子診療所の医師不在に伴い、遊子・下波・蔣淵診療所の診療体制が変更し、3診療所いずれも、前年度と比較して診療日数が減少することとなった。 診療所が所在する地域の人口減少も顕著であり、受診患者数も減少傾向にある。								決算額	
								実績値	
								9施設4医師	
								進捗状況	
事業に対する評価・課題等									
全国的に医師数が不足している中、宇和島市においても、市立宇和島・吉田・津島病院が医師募集を行っており、診療所としても非常に厳しい現状にある。募集条件(給与の増額など)の変更は財政上厳しく、現状維持での募集が精一杯の状況である。 平成24年度末の医師1名退職に伴い、以後当面の間、医師不足が見込まれる。勤務地の情報(地域、診療所、設備、行政等との連携)を広く周知するなど、継続して情報発信する必要があり、また、赴任後の診療所・医師へのサポートを含め、長期間安定して勤務できる体制を構築することも課題の一つである。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
将来的な再編計画(案)の検討を進めており、その中で、へき地診療所の在り方等について検討する予定としている。								予算額	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課			充実		継続	●	新規	
事業の概要									
宇和島市国民健康保険直営診療所で、診療船うわじまの維持管理(運航等)を行っている。この診療船を活用することにより、離島での医師の兼任管理、兼任管理中の緊急搬送等を行い、地域医療の充実を図るとともに、地域住民の生命の安全を確保している。									
平成24年度実績									
平成24年度は、戸島診療所長が兼任管理する嘉島診療所への移動手段として、月曜日、水曜日及び金曜日の午前中、定期運航している。 また、施設修繕及び医療機器の導入等、診療所の維持管理に必要な事項について、不定期に運航している。 毎年度、年2回の定期ドックを実施し、診療船の維持管理を行なっている。								決算額	
								5,549千円	
								実績値	
								進捗状況	
								4	
事業に対する評価・課題等									
宇和島市国民健康保険直営診療所は、民間医療機関の進出が望めない地域に所在しているが、これら地域は、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動手段は、主に公用車や診療船を利用することになる。 特に離島においては、定期連絡船の運航数、運航時間、台風災害時等の運航停止等があり、診療船の果たす役割は非常に大きくなっている。 現在、下波(柿の浦)から出航し、戸島と嘉島の医師移送に伴う運航を主に行っているが、今後の医師の配置状況により、運航区間は変更するものと考えている。診療所長との協力体制の確立及び、診療船の効率的な運用により、地域医療の安定的な提供に努める必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
ここ数年、離島における診療所長の異動等はなく、よって25年度も24年度と同様、戸島・嘉島間の兼任管理に伴う診療船運航を実施する。また、年2回の定期ドックを実施する。 医師の退職等があれば、診療日程の変更、兼任管理の変更が必要となるが、適宜、実情に即して対応する。								予算額	
								5,259千円	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値 (H23)	目標値 (H24)					
病院と診療所の連携強化	保険健康課			充実	●	継続		新規
事業の概要								
宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化し、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。 診療所は1次医療機関として、患者の診察治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。 診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。								
平成24年度実績								
○「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介で入院した患者を診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。診療所を含むオープン病床の利用者数は334名、延在院患者数4,035名、来院回診数444回。 ○診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や 状態による最適な医療を提供している。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っている。)								決算額
								-
								実績値
								-
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
それぞれの事例により対応等は異なるが、 離島においては、患者の移送手段が限定されてしまうこと。 診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合があること。 診療所医師不在時に患者への対応ができない場合があること。 などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられる。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成25年度予定								
継続実施								予算額
								-
								目標値
								-

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
病院と診療所の連携強化	病院局			充実	●	継続		新規	
事業の概要									
宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化するとともに、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。 診療所は1次医療機関として、患者の診察・治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。 診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。									
平成24年度実績									
診療所による「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介・入院した患者を、診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。 診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。(急性期の患者の市立病院での治療・入院等、市立宇和島病院退院後の自宅等での療養(在宅看取り等を含む)など、病院と診療所の連携により患者・家族のQOLの向上を図っている。)								決算額	
								0千円	
								実績値	
								進捗状況	
								3	
事業に対する評価・課題等									
それぞれの事例により対応等は異なるが、 離島においては、患者の移送手段が限定されてしまう。 診療所で受け入れる場合に医療機器等の設備面で問題が生じる場合がある。 診療所医師不在時に患者への対応ができない場合がある。 などの問題があり、特に病院から診療所への事例で、今後、対応できないことが考えられる。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4	
平成25年度予定									
前年度と同様。								予算額	
								目標値	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり
推進方策	2 生涯を通じた健康支援
施策の方向	3 . 保健・医療体制の整備
具体的施策	[3] 地域医療の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値 (H23)	目標値 (H24)						
ヘリポートの設置	病院局 (宇和島病院)	1施設 (搬送件数4件)	1施設	充実		継続		新規	●
事業の概要									
災害拠点病院として、災害時等の緊急搬送ができるよう屋上ヘリポートを設置しており、発着回数等から推測して、飛行場外離着陸場の位置づけで運用している。設備的には、初めて着陸するパイロットにも見やすさと安心感を与えるため、見やすい角度に照明装置を設置し、上空から目につきやすいカラーリングを施すなど、安全面を考慮したものとなっている。また本体部分は、劣化を抑えるためアルミ化しており、コスト優先ではなく安全面を優先している。なお、運用によっては、離島や山岳地帯からの搬送等も可能であり、県防災航空事務所と連携して訓練等を行い、運航確認をしている。									
平成24年度実績									
救急搬送患者発生時のフローについて、宇和島消防本部、愛媛県防災航空隊と協議を行い確定した。 ○ 搬送件数 9件(うち訓練2件)								決算額	
								—	
								実績値	
								1施設 (搬送件数9件)	
								進捗状況	
								5	
事業に対する評価・課題等									
運用フローが決定し、患者搬送も行い、目標は達成したと思われる。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成25年度予定									
災害時における運用形態についてマニュアルを再確認する。								予算額	
								-	
								目標値	
								-	

平成24年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-